

# 平成 27 年度 事業報告

(自:平成 27 年 4 月 1 日 至:平成 28 年 3 月 31 日)

## I 事業の状況

本財団は、薬学及び関連諸分野の研究を奨励振興するため、平成 27 年度は以下の諸事業を行った。

### 1 研究助成金の授与

薬学及び関連諸分野の基礎並びに応用研究に関し、将来有望な若い研究者に対して、助成金を授与した。

グループ A は助成対象を化学系、物理系、生物系、医療系の各分野及びこれらの複合分野の基礎的研究から合計 10 件（1 件 100 万円）を、グループ B は次の各分野及びこれらの複合分野の応用的研究(調査・統計研究を含む)：医療現場(薬剤部・薬局)における研究、伝統医薬に関連した研究、衛生化学・環境化学を指向した研究、医薬品・医療分野における分析を対象とした研究、社会薬学・レギュラトリーサイエンス研究の応用研究から合計 8 件以上（1 件 80 万円以内、総額 640 万円以内）を選考することとした。

グループ A は 133 件、グループ B は 40 件の応募があった。選考委員会からの授与候補者、助成金額の選考結果を受けて、理事会においてグループ A は助成金額は 1 件 100 万円で 10 件、グループ B は 1 件 80 万円で 8 件を授与することを決めた。助成金授与決定研究題目及び受領者は別紙 1 のとおりである。

### 2 国際学術交流補助金の授与

#### 研究者の海外派遣補助金の授与

平成 28 年度に、海外で開催される薬学及び関連諸分野の国際会議等への参加旅費等の補助を希望する研究者を対象に採択枠 2 件として募集したところ、7 件の応募があり選考の結果、2 件に各 30 万円（総額 60 万円）の補助金を授与した。補助金を授与した受領者と参加学会は別紙 1 のとおりである。

国際学術交流補助事業のうち、海外からの研究者招聘補助と国際会議開催補助については募集を行わなかった。

### 3 刊行物

#### 1) 「薬学研究の進歩-研究成果報告集 32」の刊行

平成 28 年 3 月、平成 24 年度の研究助成金受領者 18 名の研究成果並びに平成 26 年度に補助を受けた国際会議の開催報告（3 件）を収載した「薬学研究の進歩 32」（A4 版本文 136 頁）を刊行した。

#### 2) 機関誌「薬奨ニュース」の発行

平成 27 年 7 月及び 28 年 1 月に機関誌「薬奨ニュース No. 21、No. 22」を発行した。掲載内容は本財団のホームページにおいても公開した。

以上

## 第 36 回（平成 27 年度）薬学研究奨励財団 研究助成金および国際学術交流補助金受領者

### I 研究助成金

#### 1 グループ A（1 件 100 万円、10 件、総額 1,000 万円）

- 「Mollipilin 類生合成中間体を活用する多様な非天然型脂肪族ポリケタイド化合物の創出」  
(東北大学大学院薬学研究科・助教) 浅井 禎吾
- 「薬物動態評価モデルの構築を目指したヒト iPS 細胞由来腸管幹細胞の単離および培養法の確立」  
(名古屋市立大学大学院薬学研究科・准教授) 岩尾 岳洋
- 「デザイン型アニオン性相間移動触媒を用いるオレフィン類の不斉フッ素官能基化反応の開発」  
(静岡県立大学薬学研究科・助教) 江上 寛通
- 「フォールディング病治療を指向した二次構造改変型凝集阻害剤の開発」  
(東京大学大学院薬学系研究科・助教) 生長幸之助
- 「肝類洞内皮閉塞症の血液中バイオマーカーとしての microRNA の有用性」  
(名古屋大学大学院医学研究科・特任助教) 織田 進吾
- 「巨大分子であるコラーゲンの分泌機構解析」  
(東京大学大学院薬学系研究科・助教) 齋藤 康太
- 「マルチカラー超分解イメージング法の開発と神経細胞への応用」  
(北海道大学大学院薬学研究院・助教) 高倉 栄男
- 「Hippo 及び TGF- $\beta$  シグナル抑制による悪性中皮腫新規治療法開発の基礎研究」  
(昭和薬科大学・助教) 中野なおこ
- 「肥大した心臓に生じる死細胞の除去メカニズムの解明」  
(九州大学大学院薬学研究院・准教授) 仲矢 道雄
- 「新規薬理遺伝学的手法を用いたニューロ・エコノミクスの精神疾患研究への応用」  
(名古屋大学環境医学研究所次世代創薬研究センター・助教) 溝口 博之  
(応募件数 133 件)

#### 2 グループ B（1 件 80 万円、8 件、総額 640 万円）

- 「PK-PD-PGx に基づいたクロザピン個別化療法の確立」  
(秋田大学医学部附属病院薬剤部・薬剤主任) 赤嶺由美子
- 「慢性腎不全に対する補完代替物を利用した複合的抗酸化療法の処方設計」  
(崇城大学薬学部・准教授) 安楽 誠
- 「薬局を利用した糖尿病患者の透析予防プログラムの費用効果分析」  
(明治薬科大学・助教) 庄野あい子
- 「Cetuximab による低マグネシウム血症発現に及ぼす影響因子の基礎的・臨床的検討」  
(大阪市立大学医学部附属病院薬剤部・薬剤師、同大学大学院分子病態薬理学・学内連携研究員) 高橋 克之
- 「牛車腎気丸エキス成分の網羅的体内動態解析」  
(大阪大学大学院薬学研究科附属薬用植物園・講師) 原田 和生

- 「安全なナノ粒子の開発支援に向けたナノ粒子の経鼻・吸入曝露後の動態  
情勢とハザード情報の収集」 (大阪大学大学院薬学研究科・助教) 東阪 和馬
- 「新規経口ヤヌスキナーゼ阻害薬の個別化投与指針の構築」  
(滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部・特任助教) 平 大樹
- 「術後患者におけるデクスメトミジンによる神経保護作用および有害作用  
の個人差に着目した至適投与法の確立」  
(浜松医科大学医学部附属病院薬剤部・薬剤主任) 八木 達也  
(応募件数 40件)

## II 国際学術交流補助金

### 1 研究者の海外派遣補助金 (1件 30万円、2件、総額 60万円)

「第58回米国血液学会年次総会」

2016.12.3～6 アメリカ サンディエゴ

(就実大学薬学部・助教) 原(野上)愛

「Visiting Researcher Program of the University of Santo Tomas

Faculty of Pharmacy」

2016.8.6～9.19 フィリピン マニラ

(名城大学薬学部・研究員) Reginald Bayani Salonga

(応募件数 7件)

以上